

建学の精神					「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標					芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻 教育目標・人材の養成に関する目的					プロダクトデザイン専攻では、社会において柔軟なデザイン活動ができるよう、学内外での実体験を通して、プロダクトデザイン本来の意味を理解し、専門領域としての基礎技術である「発想力」・「技術力」・「表現力」を習得した上で、各自の個性を生かし、高い美意識やデザイン能力を有する人材の育成を教育目標とする。					
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)					芸術学部のディプロマポリシー					
科目 区分			年次	科目 ナンバリング (2025年4月より運用)	授業科目名	芸術学部のディプロマポリシー				
						芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
						デザイン・工芸学科のディプロマポリシー				
						デザイン・工芸の領域における基礎的な知識と技能を習得・理解し活用する能力を身に付けている。	表現者として、デザイン・工芸の領域にとらわれず、広く、社会・環境・資源や、人・物事・素材への関心を深め、理解する能力と態度を身に付けている。 デザイン・工芸の領域におけるプロフェッショナルとして、社会で実践するための基本的な態度と俯瞰的な視野をもち、多様性を尊重し、社会に訴えかける能力と態度を身に付けている。	論理的な思考と情緒的な思考を理解するとともに、領域を横断的に学び、俯瞰的思考を持つことによって、独創的な発想や物事の解決に結び付ける能力と態度を身に付けている。	デザイン・工芸分野において必要とされる技能、表現力を身に付け、新たな価値を創造する能力と文化的でより良い暮らしや社会への貢献に取り組むことができる能力と態度を身に付けている。	
						【知識・理解】 (教養力・基礎的専門性)	【関心・意欲・態度】 (多様性・柔軟性・適応力・コミュニケーション力)	【思考・判断】 (創造的思考力・学際的思考力・マネジメント力)	【技能・表現】 (独創力・実践力)	
学科共通	必修	実技	1	3H03A-1 3H03B-1 3H03C-1 3H03D-1 3H06A-1 3H06B-1 3H09A-1 3H12A-1 3H15A-1 3H18A-1	デザイン・工芸選択実技A	○	◎	◎	◎	
	必修	実技		3H21A-1 3H24A-1 3H27A-1 3H30A-1 3H33A-1 3H36A-1 3H39A-1 3H42A-1 3H45A-1	デザイン・工芸選択実技B	○	◎	◎	◎	
	必修	講義		3H54A-1	デザイン図法	○	◎	◎	◎	
	必修	講義		3H48A-1	デザイン・工芸論A	◎	◎	◎	○	
	必修	講義		3H51A-1	デザイン・工芸論B	◎	◎	◎	○	
	選択	演習	1～4	3H57A-1_4	コンピュータプレゼン演習A		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H60A-1_4	コンピュータプレゼン演習B		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H63A-1_4	色彩計画演習	○	◎	◎	◎	
	選択	演習		3H66A-1_4	素材演習A		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H69A-1_4	素材演習B		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H72A-1_4	素材演習C		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H75A-1_4	素材演習D		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H78A-1_4	素材演習E		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H81A-1_4	素材演習F		◎	◎	◎	
	選択	演習		3H84A-1_4	バリアフリー演習	◎		◎	◎	
	選択	講義		3H87A-1_4	マーケティング論	◎		○	○	
	選択	講義		3H90A-1_4	人間工学論	◎		○	○	
	選択	講義		3H93A-1_4	デザインと法	◎		○	○	
	選択	講義		3H96A-1_4	展示計画論	◎		○	○	
	選択	講義		3H99A-1_4	デザイン心理学	◎		○	○	
	選択	講義		3HACA-1_4	デザインサーベイ論	◎		◎	◎	
	選択	講義		3427A-1_4	インテリアデザイン史	◎		○		
	選択	講義		32AFA-1_4	環境論	◎	○			
	選択	講義		3HAFA-1_4	日本服装史	◎		○	○	
	選択	講義		3HAIA-1_4	文様史	◎		○	○	
	選択	講義		3HALA-1_4	伝統染織文化論	◎		○	○	
	選択	講義		3HAOA-1_4	テキスタイル表現論	◎		○	○	
	選択	講義		3HARA-1_4	空間演出論	◎		○	○	
	選択	講義		3HAUA-1_4	現代造形論	◎		○	○	
	選択	講義		3HAXA-1_4	広告論	◎		○	○	
	選択	講義		3HBAA-1_4	写真史	○		◎		
	選択	演習	指定なし (1～4)	3HBDA-1_4	造形演習A	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HBGA-1_4	造形演習B	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HBJA-1_4	造形演習C	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HBMA-1_4	造形演習D	◎	◎	◎	◎	

建学の精神					「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標					芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻 教育目標・人材の養成に関する目的					プロダクトデザイン専攻では、社会において柔軟なデザイン活動ができるよう、学内外での実体験を通して、プロダクトデザイン本来の意味を理解し、専門領域としての基礎技術である「発想力」・「技術力」・「表現力」を習得した上で、各自の個性を生かし、高い美意識やデザイン能力を有する人材の育成を教育目標とする。					
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)					芸術学部のディプロマポリシー					
科目 区分			年次	科目 ナンバリング (2025年4月より運用)	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
						デザイン・工芸学科のディプロマポリシー				
						デザイン・工芸の領域における基礎的な知識と技能を習得・理解し活用する能力を身に付けている。	表現者として、デザイン・工芸の領域にとらわれず、広く、社会・環境・資源や、人・物事・素材への関心を深め、理解する能力と態度を身に付けている。 デザイン・工芸の領域におけるプロフェッショナルとして、社会で実践するための基本的な態度と俯瞰的な視野をもち、多様性を尊重し、社会に訴えかける能力と態度を身に付けている。	論理的な思考と情緒的な思考を理解するとともに、領域を横断的に学び、俯瞰的思考を持つことによって、独創的な発想や物事の解決に結び付ける能力と態度を身に付けている。	デザイン・工芸分野において必要とされる技能、表現力を身に付け、新たな価値を創造する能力と文化的でより良い暮らしや社会への貢献に取り組むことができる能力と態度を身に付けている。	
						【知識・理解】 (教養力・基礎的専門性)	【関心・意欲・態度】 (多様性・柔軟性・適応力・コミュニケーション力)	【思考・判断】 (創造的思考力・学際的思考力・マネジメント力)	【技能・表現】 (独創力・実践力)	
専攻・領域専門	必修	演習	1	3J03A-1	プロダクトデザイン基礎演習A	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J06A-1	プロダクトデザイン基礎演習B	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J09A-1	プロダクトデザイン基礎演習C	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J12A-1	プロダクトデザイン基礎演習D	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J15A-1	プロダクトデザイン基礎演習E	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J18A-1	プロダクトデザイン基礎演習F	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J21A-1	CG演習 I	◎	◎	◎	◎	
	必修	演習		3J24A-1	表現演習 I	◎	◎	◎	◎	
学科共通	必修	講義	2	3HBYA-2	プロダクトデザイン概論	◎		○	○	
	選択	演習		3HBPA-2	エコロジカルプランニング演習	◎		○	◎	
	選択	演習		3HBSA-2	ライティング演習	◎	◎	◎	◎	
	選択	講義		3366A-2	印刷概論	○	○	◎		
	選択	講義		3HBVA-2	ヴィジュアルデザイン概論	◎		○	○	
	選択	講義		3HCBA-2	環境デザイン概論	◎		○	○	
	選択	講義		3HCEA-2	工芸史(染織)	◎		○	○	
	選択	講義		3HCHA-2	工芸史(陶ガラス)	◎		○	○	
	選択	演習	2～4	3HCKA-2.4	映像表現演習A	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HCNA-2.4	映像表現演習B	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HCQA-2.4	写真演習	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HCTA-2.4	英語プレゼンテーション	◎	◎	◎	◎	
	選択	講義		3HCWA-2.4	建築材料学	◎		◎	○	
	選択	講義		3HCZA-2.4	建築生産 I	◎		◎	○	
	選択	講義		3HDFA-2.4	建築法規	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	必修		演習	2	3J27A-2	プロダクトデザイン演習A	◎	◎	◎
必修		演習	3J30A-2	プロダクトデザイン演習B		◎	◎	◎	◎	
必修		演習	3J33A-2	プロダクトデザイン演習C		◎	◎	◎	◎	
必修		演習	3J36A-2	プロダクトデザイン演習D		◎	◎	◎	◎	
必修		演習	3J39A-2	プロダクトデザイン演習E		◎	◎	◎	◎	
必修		演習	3J42A-2	プロダクトデザイン演習F		◎	◎	◎	◎	
必修		演習	3J45A-2	CG演習 II		◎	◎	◎	◎	
必修		演習	3J48A-2	表現演習 II		◎	◎	◎	◎	
必修		講義	3J51A-2	プロダクトデザイン史		◎		○	○	
学科共通	選択	演習	3～4	3HDOA-3.4	デザイン・工芸連携プロジェクトA	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HDRA-3.4	デザイン・工芸連携プロジェクトB	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HDUA-3.4	デザイン・工芸連携プロジェクトC	◎	◎	◎	◎	
	選択	演習		3HDXA-3.4	デザイン・工芸連携プロジェクトD	◎	◎	◎	◎	
専攻・領域専門	必修	演習	3	3J54A-3	3D-CG演習	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J57A-3	プロダクトデザイン I AA	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J60A-3	プロダクトデザイン I AB	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J63A-3	プロダクトデザイン I BA	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J66A-3	プロダクトデザイン I BB	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J69A-3	プロダクトデザイン I CA	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J72A-3	プロダクトデザイン I CB	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J75A-3	プロダクトデザイン I DA	◎	◎	◎	◎	
	選択必修	実技		3J78A-3	プロダクトデザイン I DB	◎	◎	◎	◎	

建学の精神				「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」								
芸術学部の教育目標				芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。								
デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻 教育目標・人材の養成に関する目的				プロダクトデザイン専攻では、社会において柔軟なデザイン活動ができるよう、学内外での実体験を通して、プロダクトデザイン本来の意味を理解し、専門領域としての基礎技術である「発想力」・「技術力」・「表現力」を習得した上で、各自の個性を生かし、高い美意識やデザイン能力を有する人材の育成を教育目標とする。								
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)				芸術学部のディプロマポリシー								
科目 区分	年次	科目 ナンバリング (2025年4月より運用)	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」		課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」		課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」		芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」		自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
				デザイン・工芸学科のディプロマポリシー								
				デザイン・工芸の領域における基礎的な知識と技能を習得・理解し活用する能力を身に付けている。		表現者として、デザイン・工芸の領域にとらわれず、広く、社会・環境・資源や、人・物事・素材への関心を深め、理解する能力と態度を身に付けている。 デザイン・工芸の領域におけるプロフセッションとして、社会で実践するための基本的な態度と俯瞰的な視野をもち、多様性を尊重し、社会に訴えかける能力と態度を身に付けている。		論理的な思考と情緒的な思考を理解するとともに、領域を横断的に学び、俯瞰的思考を持つことによって、独創的な発想や物事の解決に結び付ける能力と態度を身に付けている。		デザイン・工芸分野において必要とされる技能、表現力を身に付け、新たな価値を創造する能力と文化的でより良い暮らしや社会への貢献に取り組むことができる能力と態度を身に付けている。		
				【知識・理解】 (教養力・基礎的専門性)		【関心・意欲・態度】 (多様性・柔軟性・適応力・コミュニケーション力)		【思考・判断】 (創造的思考力・学際的思考力・マネジメント力)		【技能・表現】 (独創力・実践力)		
学科共通	選択	講義	4	3HDIA-4	構造計画	◎		◎			○	
	選択	講義		3HDLA-4	建築設備	◎		◎			○	
	選択	講義		3HDCA-4	建築生産Ⅱ	◎		◎			○	
専攻・領域専門	選択必修	実技		3J81A-4	プロダクトデザインⅡAA	◎	◎	◎			◎	
	選択必修	実技		3J84A-4	プロダクトデザインⅡAB	◎	◎	◎			◎	
	選択必修	実技		3J87A-4	プロダクトデザインⅡBA	◎	◎	◎			◎	
	選択必修	実技		3J90A-4	プロダクトデザインⅡBB	◎	◎	◎			◎	
	必修	実技		3I75A-4	卒業制作	◎	◎	◎			◎	